

国公立大学に合格した先輩の話を聞く「進路座談会」を実施しました。

令和4年3月18日(金) 1・2年生を対象として進路座談会が行われました。大学に合格して進路が決まった先輩(卒業生)の話を聞くことで自らの進路を考え、これからの学校生活を有意義に過ごすための良い契機となりました。

『生徒の感想』・・・これから高校生活をどのように変えていきますか？

【1学年】

- 志望校を幅広く決め、余裕をもって学力をつけていくことが大切だと思った。また、これからの学習に対する姿勢も変え、1年次にできなかった事を2年次にできるようにして、目標を達成できるように進めていきたいです。
- 私は計画的に学習することが苦手なので、少しずつでも計画を立てて学習する習慣をつけたいです。また、授業をもっと大切にして、より理解を深めて定期テストの学習もスムーズにできるようにしたいです。
- 放課後に教室や学習室に残って勉強したり、一つ一つの授業を大切にしたりして、定期テストで70点以上は取れるようになったらいいなと思います。
- 自分のやりたいことを日々探ったり、自分の夢をはっきりさせていきたいです。また、自分はまず努力が足りないと思いました。1・2年生から勉強を定着させておくことが大事だと思ったので、日々怠らず頑張りたいです。
- 今私は、将来の夢もなく、行きたいと思う学校も特にありません。進学したいという気持ちはあるけれど、勉強する気にならずにダラダラしているので、受験できる学校の幅を広げられるように各教科の基礎を固めていこうと思いました。
- 今まで以上に授業や定期テストの一つ一つを大切にして、なるべく長く学習時間を確保できるようにしたいです。また、普段の学校生活にも十分に気を配り、学校から推薦してもらえそうな人物目指して努力しようと思います。
- これからの高校生活では、自分の空いた時間を活用して単語の勉強をするなど、毎日心がけたいです。また、苦手教科の基礎からしっかり取り組みたいです。
- 勉強は計画的に行い、自分に合う勉強法を見つけていこうと思いました。模試の結果を伸ばすために、解答・解説を見ながら毎回見直しをして、同じミスをしないようにしていこうと思いました。



【2学年】

- まず部活動と勉強を両立するために授業をしっかりと受け、その授業である程度基礎を身に付けるように努力したいです。また、苦手教科を克服するために、まずは基礎を定着させ、応用に繋がるような勉強をしたいです。
- 勉強の時間や内容など、基礎から見直そうと思いました。また、得意を伸ばすためにも一つのことに熱を入れるのも大切だと思いました。そして、応援される自分を作るために努力しようと思いました。
- 「苦手教科を苦手と思わず、基礎からやってみる」という話を聞き、基礎からやり直すことを少しずつしていきたいと思いました。苦手な教科を苦手なままで終わらせず、少しでもできるようにしていきたいです。
- 一番大切なことは継続することだと思いました。続けることで自分に自信をつけられると思います。今からできることはたくさんあるし、今しかできないこともあるので、それを考えて自分のために頑張ろうと思います。自分に合った勉強の仕方、環境などを見つけてやっていきます。
- これからの高校生活は、毎日の勉強を頑張ろうと思いました。毎日少しでもいいから勉強することで、少しずつでも学力アップにつながると思いました。だから、このことを続けていきたいです。
- 「周りの人は全員味方」「努力している分だけ周りの人は協力してくれる」という言葉が自分にぴったりだなと思いました。戦っているのは自分だけじゃないということを理解して、これからは今までよりも努力して勉学に励みたいと思いました。

